

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フラックス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：フラックス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

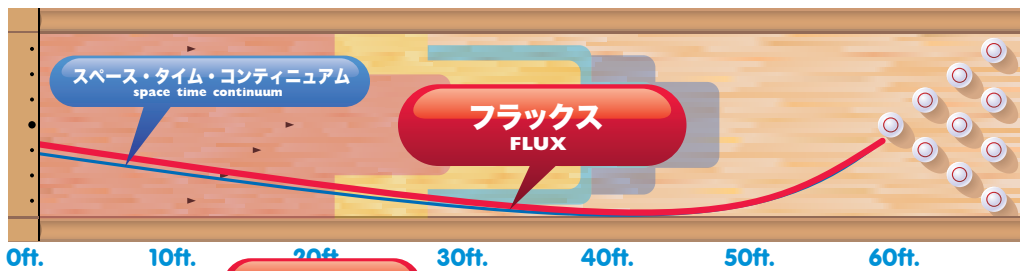
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：スペース・タイム・コンティニューム

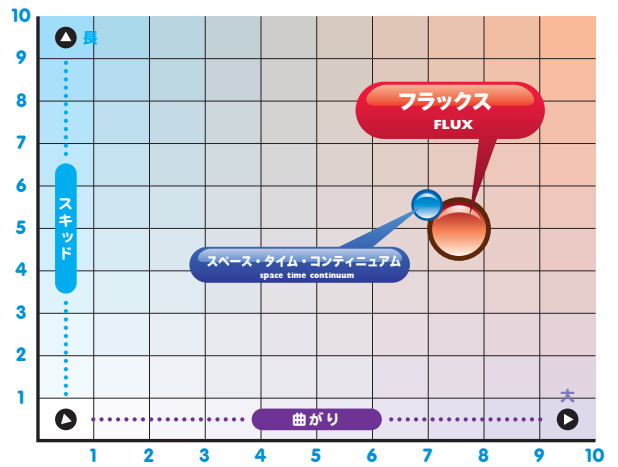
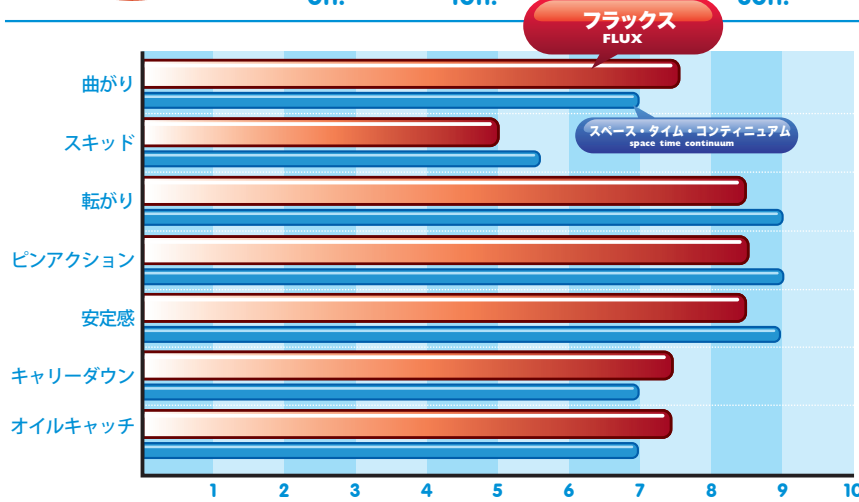
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

S72カバーストックのように現行基準はS72カバーストックであり、S72Rカバーストックは基本配合は同じですがオイルに対してのトラクションの維持とバックエンドのパフォーマンスを飛躍的に向上させるために新たな触媒を追加している特徴があります。FLUXにはRカバーとともに新たなテクノロジーが採用されており、図のようにContinuumのSphericon LD Asymmetricコアから下部にウエイトブロックを搭載したAmplifyコアへと変容しています。このウエイトブロックを追加することで慣性が高くなりますがフレア幅は大きくなり、バックエンドが非常に攻撃的になります。

カバーストックとしてはS72という分類ですが、開発のコンセプトにもある通りオイルを多く感じるコンディションで曲がるイメージが出ています。曲がる分類の中でも先で非常に向きが変わるイメージが強く出ていて、「攻撃的」という印象が強く残ります。私のテストングのイメージはS72領域ではかなりオイルに対しての強さは出ていると思います。特に先での動きが強くでるコンセプトで作られているので、曲がり幅が奥でできるようにコアもその設定になっているのも実際投球するとボールの動きから感じることが出来ます。私が感じたのは表面が曇っているボールの性能の中ではオイルキャッチもバックエンドリアクションもバランスが良いと思います。このボールを投げて曲がり幅が足りなければこれよりもキャッチの強いカバーのボールにチェンジする。このボールで走りが悪く感じてくれば光沢のあるS72、もしくはS72以下を視野にいたれたアジャストが900Global内でシンプルに行えます。

特記事項

見た目はシンプルですが、かなり実のある性能です。先での動きが明確に出るので容易に入射角が取れるのと同時にやや曇った加工が手前のオイル量の差を軽減させ、安定したキャッチを生み出しています。